

学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校  
2020年度 第1回学校関係者評価委員会

日 時	2020年5月17日～6月17日 *メール配信による意見交換期間
委 員	東戸塚記念病院関係者様、西横浜国際病院関係者様、あんしんケアマネジメント関係者様、学 校長、副校長、次長、理学療法学科長、作業療法学科長、ほか教職員6名
内 容	

### I. ご挨拶

万緑の候 委員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染予防のための外出自粛、また社会機能維持のため普段以上にご苦労されている委員の方もいらっしゃるものと拝察いたします。

皆様の感染予防へのご協力と献身的な取り組みに心よりお礼申し上げます。

さて、本会議は本校にとって大変重要な会議ではございますが、先般ご連絡いたしましたように、参加者の新型コロナウイルス感染予防の観点から、お送りさせていただいた下記添付資料に基づきご意見を頂戴し、相互に意見交換する形態をとらせていただきたく存じます。

ご多用のところ大変恐縮ではございますが、ご意見は添付の用紙にご記入のうえ、6月15日（月）までにメール添付にてご返送いただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

なお、4月よりスタートする予定であった通常授業はオンラインでの授業となり、4年生1期目の臨床実習は学生諸氏の感染予防の観点から、臨床実習施設と検討した結果、大変残念ではあります但し中止とさせていただきます。実習中止に伴い厚生労働省からの指導に基づき、オンラインにて臨床推論に基づく症例検討を進めております。更に、2期目（6・7月）の実習もいまだ実習施設の安全確保にばらつきがあることから、実施することは困難な状況であり中止と判断させていただきました。3期目（8・9月）の実習については、実施に向け現在調整中となっております。

また、登校自粛が緩和されれば、3密に配慮した登校での授業開始も視野に入れて準備しております。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、ご意見、ご指導のほどよろしく願いいたします。

### II. 自己評価表（全て資料1に基づき報告）

資料1に、2019年度の達成状況と2020年度に取り組むべき課題等について示した。

#### 1. 教育目標・理念（林副校長）

- ・ 5月7日から実施しているオンライン授業においては、全学生が支障なく受講できるよう、サポートを行っている。
- ・ オンライン授業にともない、両学科とも大幅な時間割変更にて対応している。
- ・ 本年度新入生より、新指定規則でのスタートとなっている。

#### 2. 学校運営（林副校長）

- ・ 年度ごとに各業務担当（図書・備品、国家試験対策、学校行事、臨床実習、FD）を決定し、遂行している。
- ・ 外出自粛期間中はテレワークとなっており、オンライン会議が増加している。コミュニケーション不足によるトラブル回避が重要である。一部職員が電話対応と外部非常勤講師対応のため出勤して

いる。

- ・ 学生に配布するシラバス・教材等はネットワーク上サーバにてアクセス可能にしている。
- ・ 教職員・学生の健康診断は新型コロナウイルスの影響により、延期した。

### 3. 教育活動

#### 【シラバス・カリキュラム（水島）】

- ・ 奨学金新制度に対応するため、シラバス書式の一部改定を行った。
- ・ 新設された項目、他校にはない本校オリジナル科目を加えた特色のある新カリキュラムを作成する。

#### 【教育力向上（岡村）】

- ・ 授業アンケートは適正に実施され、回答率は前期 95.2%、後期 89.2%であった。また、各担当から結果のフィードバックも行われた。
- ・ 学生ネットワークに時間割と共に開示した。オンライン授業では、一部シラバスを変更しているため、G-suite（クラウドサービス）内で配信した。
- ・ シラバスは担当教員が確認することで、科目間の記載のバラツキを減らし、公開に向け準備を進める。

#### 【臨床実習（瀬戸山）】

- ・ 実習依頼、実習施設確保、承諾書の集計と管理、実習施設からの申請書、契約書の管理は概ね滞りなく実施した。
- ・ 指定規則改定にともない、実習施設承諾書の書式変更を行う。
- ・ 3月に予定していた4年次臨床実習指導者会議、6月の3年次検査測定実習指導者会議を中止した。

#### 【情報公開（水島）】

- ・ カリキュラム一覧表並びに授業風景、国家試験の合格率、就職率について本校 HP およびパンフレットにて公開している。
- ・ 「教育課程編成委員会」及び「学校関係者評価委員会」の議事録を HP 上に公開している。

### 4. 教育成果

#### 【資格・卒業研究（岡村）】

- ・ 4年生全員の障害者スポーツ指導員初級の認定手続きを実施した。
- ・ 1年生全員の障害者スポーツ大会サポート実習（ボランティア）をとりまとめた。
- ・ 障がい者スポーツ大会はコロナ感染のため、中止されている。状況に応じて対応する。
- ・ 卒業研究については、コロナ感染を鑑み、理学療法学科は文献研究とした。論文作成手順や執筆について、随時具体的な指導を行う予定。

#### 【国家試験・卒業試験（島田）】

- ・ 試験問題の精度向上のため、試験作成者に昨年度作成問題の正答率提示・難易度配分依頼を行った。また、作成上、問題に不備がないように複数の教員で問題を確認する体制で行なった。
- ・ 第55回国家試験結果は、PT：97.5%（新卒：97.4%、既卒：100%）、OT：93.0%（新卒96.8% 既卒83.3%）であり、全国平均 PT：86.4%、OT：87.3%で、両学科とも全国の合格率を上回った。
- ・ 実力試験では昨年度の卒業試験を取り入れ、全ての学生に卒業試験の過去問題が手に渡るようにした。過去問題を含め、卒業試験においても解説を公開して復習する機会を与えた。
- ・ 国家試験の傾向、対象学生の状況など、情報を整理して学生指導に反映される対策を検討していく。
- ・ 卒業試験問題作成時の依頼方法・問題校正作業の体制、合格基準等の検討は、継続して行っていく。

#### 【臨床実習（中村・水島）】

- ・ コロナ感染の影響で中止した臨床実習の代替学内実習について、臨床推論習得を目的に課題を検討、実施を進める。
- ・ 理学療法学科では協会が作成する「臨床実習の手引き」改訂版を基に、本校の実習の手引およびチェックリストを作成する。
- ・ 作業療法学科では、今年度は生活行為向上マネジメント（MTDLP）推進協力校 A 校その基準を満たすように、30%以上の実習施設でMTDLPを活用できるように臨床実習指導者に働きかける。OT 協会が作成する「臨床実習の手引」改訂版を基に、新カリキュラムにも対応（診療参加型実習）できる実習の手引きの見直しを行う。

#### 【留年・退学者防止】

##### 理学療法学科（中村）

- ・ 1 年生（22 期生）の再試の平均数は 1.49 と昨年度（21 期生）1.08 より増加した。
- ・ 2 年生（21 期生）の再試の平均数は 1.05 と昨年度（22 期生）1.63 に比べ減少した。
- ・ 3 年生（19 期生）の再試の平均数は 1.16 と昨年度（18 期生）の 0.54 より倍増した。退学者の 1 名について、学力は高いものの入学時より適正に関して悩んでいた学生で、実習を契機に進路変更に至った。

##### 作業療法学科（水島）

- ・ 強化組対象者については、所属するクラスの総合点から偏差値を算出し、学年で昨年度偏差値と比較したところ、1 年平均 43.9（前年度平均 40.0 で+3.9）、2 年 38.2（前年度平均 39.2 で-1.0）、3 年 42.3（前年度平均 36.0 で+6.3）であった。強化組で総合点偏差値 35 以下の者は、1 年 1 名、2 年 2 名、3 年 2 名であった。

## 5. 学生支援

#### 【社会性（岡村）】

- ・ 1 年次の見学実習においても、チェックリストを使用し、結果を学生の個別支援に活かした。
- ・ オンラインでは社会性を学ぶ機会・指導する機会が減少するが、オンラインによる個別面談を進め、気になる学生については、丁寧に指導する。

#### 【行事（机）】

- ・ 学生がより主体・主導的に動けるよう支援し、準備から当日まで滞りなく実施できた。また、地域作業所の出店や「つなぐカフェ」の実施をし、地域の皆さんにもご参加頂けた。
- ・ 食販では教職員で衛生面のチェックリストを参考にして巡回を行った。その結果、リアルタイムに衛生指導を実施することができた。
- ・ 負担が特定の教員に集中しないよう、業務の分担を図る。

#### 【個別指導（中村）】

- ・ 定期的な面談に加え、必要に応じ随時面談をオンラインにて実施する。オンラインによる各学科会議でも情報を共有し対応策を検討する。

#### 【防犯、就職支援、災害対策、経済援助（宮野）】

- ・ 年内内定率 60%、年度内内定率 100%の達成に向け、教員と就職指導担当との連携をより高め、国試対策の進捗が順調な学生から早期内定を促していく。
- ・ 2020 年度入学生より入学時の特待生枠を増枠し、より多くに新入生が対象となった。
- ・ 高等教育修学支援制度対象校として認定された。

## 6. 教育環境

### 【教室（宮野）】

- ・ G-suite for Education というクラウドサービスを使用し、遠隔授業を提供する。

### 【図書・設備・備品（武田）】

- ・ 図書室活用を図るために、新規蔵書について周知を行い、図書室活用を促した。
- ・ 教職員、学生より蔵書希望のアンケートを実施。蔵書の増加発注を実施した。

## 7. 学生募集（宮野）

- ・ 定員の充足はもちろんのこと、定員超過にも十分注意する。
- ・ コロナ感染の影響にて、年度当初のイベントが中止となった。今後は Web 上での学校説明会実施を検討し、保護者や学生の不安を払拭するような学生募集を進める。

## 8. 社会貢献・地域貢献（宮野）

- ・ 高校生向け講座：「仕事のまなび場」（夏休み 2 講座）、小中学生向け講座：「小中学生のためのチャレンジスクール」を実施した。
- ・ 職能団体の技能研修会等開催のため、実習教室が活用された。
- ・ 高校等からの依頼による出張授業に参加した。
- ・ 今年度はコロナ感染の影響にて、多くのイベントが縮小・中止になっているが、学生の安全を確保しつつ、可能な限り参加をサポートする。

## 9. 法令遵守（林副校長）

- ・ 自己評価は、学校運営の一部（授業アンケート、保護者アンケート、教職員の自己評価等）となっていた。平成 24 年度より「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、本形式にて実施している。
- ・ 2020 年度は、PT 学科で 4 人、OT 学科で 1 人の定員超過となり、新学年は 125 名でスタートした。
- ・ 定員の適正化を図る。

## IV. 質問・意見（メールにて収集し、学校の担当者より返答し双方向の意見交換を行った）

須藤先生：

新型コロナウイルス為、各種評価項目が確定できない中での対応と運営大変お疲れ様です。生理学の教科担当と致しましては、常勤講師の先生方における 1 年生の補講、上位学年からの指導も実施等ご協力を頂いている状況です。学生間の個人差は認めるものの、補講に参加する生徒の質問の内容の質の変化や自身の理解度や学習状況への危機感の変化が徐々に感じるようになりました。ご協力頂いている先生方のご尽力に心より感謝致します。

中村学科長：

理学療法学科における補習では、基礎学力強化組として 1~3 年生の各クラスより選抜された約 40 人を対象として実施している。国家試験にて重要な内容であり、今後もより学生の習熟度を上げるための工夫を検討したい。今年度は対面での実施が困難であるため、オンラインでの学習会開催を検討中である。

本橋様：

品濃町内会としては、2019 年も例年のように「長寿のつどい」の会場を提供していただき、また、多数の学生さんにお出演していただいて、歌と軽い体操で楽しいひとときを演出していただきました。

また、福祉部の「お茶でも飲みましょう会」（今年は新型コロナウイルス感染症の影響で3月以降休止中）も学生さんのサポートで、参加者に若い活気を伝えていただいています。毎月の「つなぐカフェ」での地域の人たちとのふれ合いを含め、様々なボランティアの経験は、就職後の仕事の発展により効果があると思います。

留年、退学の数は、一部で悪化があるものの前年度と大きく変わらず、国家試験合格率、就職内定率は優れていると評価できます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式、入学式などの行事、実習、教職員の会議も行えない等の状況になり、オンライン授業等の対応が行われたとはいえ、学習の遅れが心配されます。正常な授業が開始されたのちに挽回することは容易ではありません。全教職員一体となった対応が必要です。横リハの学生さんと教職員の皆さんの頑張りに期待しています。

水島学科長：

貴重なご意見をありがとうございます。町内会の皆さまには本当にお世話になり、学生も様々な活動のお手伝いを通して学びを深めており感謝申し上げます。この3月より、コロナ感染の影響にて、イベントが中止され、本校にて開催しておりました「つなぐカフェ」も中止となっておりますが、学生ともども、また、みなさまにお会いできる日を楽しみにしております。

藤井先生：

COVID-19の感染拡大により、学校教育現場でもオンラインによる授業など導入されていることと思います。しかし、一方でPT・OTの学ぶ内容の中には技術的な面や対人関係の中で培われるものも多いと感じています。今後、第2波も懸念される中で、養成校での取りくみについて、ご教授いただければ幸いです。

林副校長：

5月4日の政府による緊急事態宣言の延長に伴い5月中はオンラインによる授業を進め、6月1日より週2回程度の登校による対面授業を開始いたしました。実技系の授業は対面で行うために、時間割を大幅に修正変更し、状況に対応しています。ご指摘の通り、専門職としての技術や対人関係にて培われる社会性・人間力が求められるため、可能な限り対面授業も行いつつ、一方で学生の感染リスクを減らすよう、教室の換気、マスクの着用と手指やベッド・器材等の消毒を徹底して指導しています。また、学生は毎朝の検温とデータ入力を行い、教員が確認しています。さらに、登校時にはロビーでの消毒と体温チェックを行っています。今後も、感染状況に合わせ、登校日数や時間割の変更等行いながら、医療職に必要な技術・知識・人間力の育成に取り組んでまいりたいと考えています。

## V. 次回の会議について

次回の会議開催についてですが、2020年11月6日（金）に開催する方向で調整させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

以上

作成：田中